



## 心にとどめておく言葉

副校長 加部 務



今年、2月3日の節分を経て、2月4日が立春です。まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では春の訪れです。3年生にとっては、期待や不安が入り混じる複雑な時期であるかもしれません。卒業式までの登校日数も、残すところ「30日」となりました。社会人への第一歩を踏み出すための準備期間として、残り一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

さて、本校の校訓は「継続は力なり」です。生徒の多くは、この言葉を教訓として、「何事にも粘り強く」「毎日コツコツ」「努力を重ねる」など、それぞれに言葉の意味をもっていることでしょう。このように、自分の行動の指針とするために日常的に心にとどめておく言葉のことを「座右の銘」ともいいます。卒業を目前としている3年生は勿論のこと、最上級生になる準備を迎える2年生、系列分けを目前にしている1年生にとっても、自分自身を律する言葉を常に心にとどめておいてほしいと考えています。志村学園の校訓「継続は力なり」も、生徒の心に寄り添い、励ましてくれる言葉の一つであってほしいと願っています。

厳しい年の初めとなりましたが、今年度も残すところあと2か月です。卒業・進級に向けて教育活動の充実に努めてまいります。引き続き、御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 書初め会

国語科 古澤 正彦

新年最初の登校日となる1月9日（火）に、毎年恒例の書初め会を実施しました。

1年生は「自立の道」、2年生は「希望の光」、3年生は「継続は力」のお手本を見ながら、集中して筆を進めていました。令和6年になり、生徒たちは、新年初日の新たな気持ちを込めて作品を書いていました。今年度も大東文化大学より3名の講師の先生方をお招きし、御指導いただきました。生徒たちは、御指導いただいた内容を踏まえて、より良い作品を書き上げようとしていました。

今回生徒が書いた作品は、クラス掲示後に御家庭に持ち帰ります。ぜひ御家庭に持ち帰った作品を御覧ください。



## 長崎への修学旅行

学年主任 出野 裕也

就業技術科2年生は、1月17日（水）から19日（金）の2泊3日で長崎へ修学旅行に行ってきました。1日目は、平和学習として平和公園、長崎原爆資料館の見学後、被爆体験講話を拝聴しました。

2日目は、長崎市内のクラス別行動でした。時折雨の降る空模様でしたが、事前学習で計画した見学地を回り、長崎の歴史や文化に触れることができました。午後は、ハウステンボスでグループ別行動とイルミネーション見学を行いました。生徒たちは様々なアトラクションを体験し、楽しんでいました。イルミネーションは、園内全体の幻想的な光が素敵な思い出となりました。

3日目は、ハウステンボス環境設備ツアーと九十九島パールシーリゾートの見学を行いました。

生徒たちは、平和学習を通じて戦争や核兵器について深く考え、長崎の地で多くのことを体験的に学ぶことができました。また、仲間とのコミュニケーションを大切にしながら自律的に行動することもできました。今後は、これらの体験や楽しかった思い出を胸に、学校生活をより一層充実したものにしてほしいと思います。



## フレッシュマンズ講座

学年主任 会田 高代

第3学年では、今年4月から社会人としてスタートするにあたり、社会人として必要なさまざまな知識やマナーを身に付けるために、「フレッシュマンズ講座」を授業で行っています。これまでに、ストレスへの対処法を学ぶ「レジリエンス」、スーツの選び方や着こなし方を学ぶ「ビジネススーツについて」、本校卒業生から社会人になった後の話を聞いて学ぶ「先輩から学ぶ」、通勤寮やグループホームについて学ぶ「通勤寮について」の4つの講座をそれぞれ講師の方をお招きして授業を行いました。

1月に行われた「先輩から学ぶ」では、3期生から7期生までの本校卒業生を5名招き、対話形式で話を聞くことにより、仕事をする上で必要な心構えや学校で身に付けておいた方がよいこと、実際に一人暮らしをするために必要なお金の話など、幅広い観点の話を聞くことで、漠然としていた卒業後の生活を具体的にイメージすることができました。

卒業までにあと2回予定されており、卒業に向けて必要な知識を数多く身に付けて、すてきな社会人になってほしいと願っています。



写真：講座「先輩から学ぶ」